

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社は、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

より幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家情報」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしています。



<https://www.alfresa.com/ir/index.html>



「統合報告書 2019」

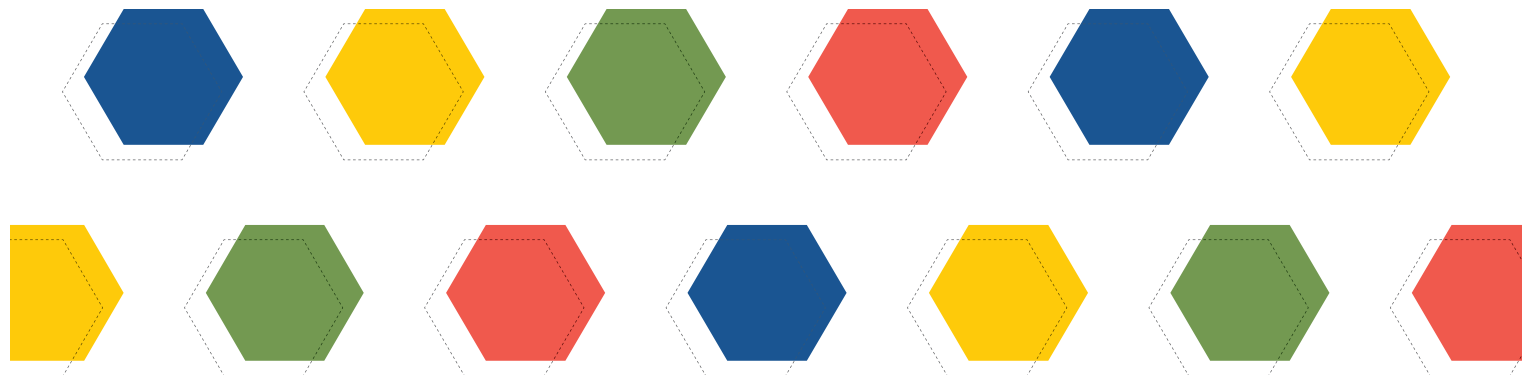
アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階

TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



アルフレッサ ホールディングス株式会社



株主のみなさまへ

2020年3月期 第2四半期報告書

(2019年4月～2019年9月)

証券コード 2784

Fresh life for all.

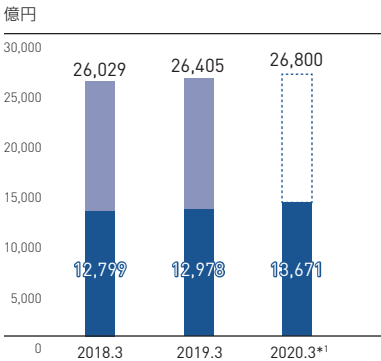
すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresa group

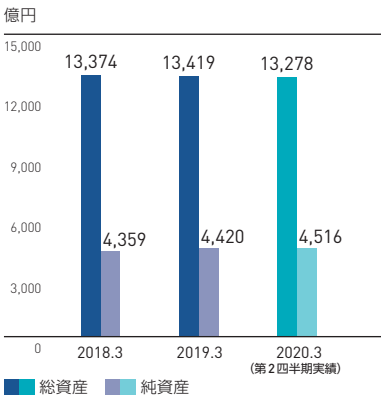
連結財務ハイライト

(注) 医薬品等製造事業の企業結合（2019年3月1日）の取得原価配分に関する暫定的な会計処理を確定したため、2019年3月期財務諸表の数値を遡及修正しています。

売上高



総資産・純資産

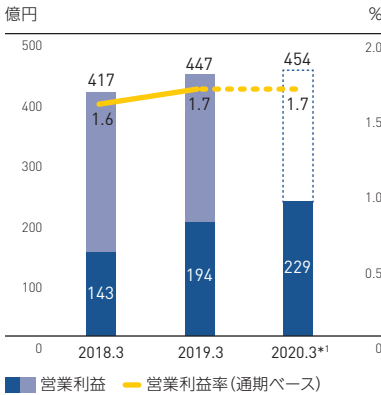


配当について

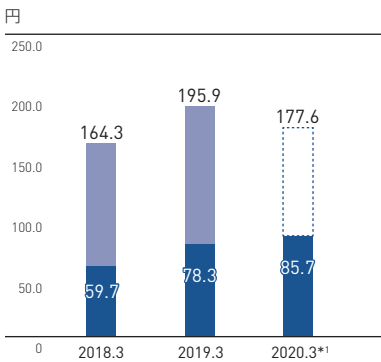
配当につきましては、連結業績を基準に財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)2.3%以上を基本方針としております。

この方針に基づき、2020年3月期は中間配当金を25円といたしました。また期末配当金は25円を予定しており、年間配当金は合計50円を予定しております。

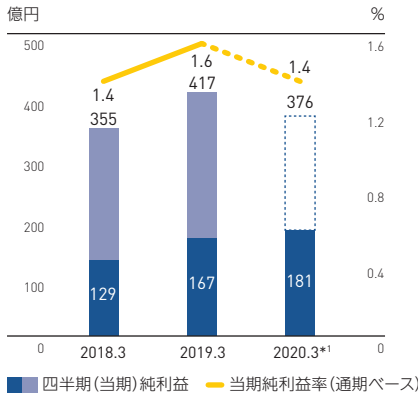
営業利益・営業利益率



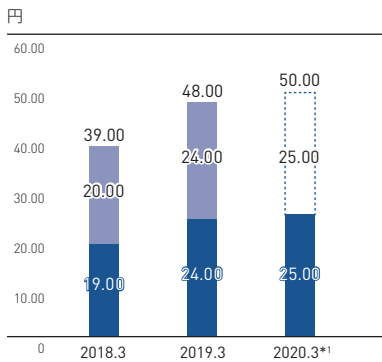
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)



四半期(当期)純利益・当期純利益率*2



1株当たり配当金



*1 2020.3(通期)の業績は予想値

*2 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(率)

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

TOP MESSAGE



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループは、今期新たに「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」を策定し、グループ経営方針に掲げた「グループ連携体制の構築」「事業モデルの変革」「地域の人々の健康への貢献」「さらなる生産性の向上」「人づくり」に取り組んでおります。

事業別では、医療用医薬品等卸売事業において、診断薬、医療機器などのメディカル品や、スペシャルティ商品の販売に注力しており、スペシャルティ商品は一元流通の積極的な展開に向けて、2019年10月にグループ会社のアルフレッサ(株)内に専門組織を立ち上げました。セルフメディケーション卸売事業では専売商品の拡販や新たな販売ルートの開拓に取り組み、医薬品等製造事業では、2019年3月より第一三共(株)等から長期収載品を承継したほか、診断薬、

医療機器の新製品を発売いたしました。これらの結果を受け、2020年3月期第2四半期の連結業績は、売上高1兆3,671億円(前年同期比5.3%増)、営業利益229億円(同17.8%増)の増収増益となりました。配当につきましては、期初の予定通り、中間配当金25円としております。

またこのたびは、当社連結子会社の調剤薬局において、不適切な行為が行われたことが判明し、株主のみなさまには大変なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。現在、第三者からなる特別調査委員会において調査を行っており、調査結果は受領後、速やかに公表する予定です。今後は、再発防止を徹底するとともに、グループガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

第2四半期の事業別業績

連結売上高 **1兆3,671億円** (前年同期比5.3%増) 連結営業利益 **229億円** (前年同期比17.8%増)

医療用 医薬品等 卸売事業	売上高構成比率 87.9%	売上高 1兆2,019億円 (前年同期比5.7%増 ) 営業利益 200億円 (前年同期比16.3%増 )	消費増税前の需要増加と抗悪性腫瘍薬の需要拡大、およびスペシャリティ商品、メディカル品が増加し、売上高1兆2,019億円(前期比5.7%増)、営業利益200億円(同16.3%増)となりました。
セルフ メディケーション 卸売事業	売上高構成比率 10.1%	売上高 1,385億円 (前年同期比0.9%増 ) 営業利益 13億円 (前年同期比5.8%減 )	消費増税前の需要増加の一方、インバウンド需要の減少および人手不足による人件費・物流費の高騰などにより、売上高1,385億円(前期比0.9%増)、営業利益13億円(同5.8%減)となりました。
医薬品等 製造事業	売上高構成比率 1.6%	売上高 223億円 (前年同期比13.1%増 ) 営業利益 9億円 (前年同期比55.9%増 )	第一三共(株)などから承継した長期収載品の売上増大と、医薬品(自社製品)の売上構成比の上昇により利益率が改善し、売上高223億円(前期比13.1%増)、営業利益9億円(同55.9%増)となりました。
医療 関連事業	売上高構成比率 1.3%	売上高 177億円 (前年同期比6.0%増 ) 営業利益 1億円 (前年同期は営業損失15百万円)	店舗数の増加(19年9月末:170店舗)に加え、調剤報酬加算の獲得増加により利益率が改善し、売上高177億円(前期比6.0%増)、営業利益1億円(前年同期は営業損失15百万円)となりました。

事業トピックス

静岡新物流センターの建設を開始

アルフレッサ(株)は、2019年7月から静岡県における物流の中核拠点として藤枝市に新物流センターの建設を開始しました。当物流センターは、厳格な温度管理等が求められるPIC/S GDP*1に準拠した設備を有するほか、RFID*2やパレット自動倉庫における庫内作業などの高負荷作業削減のためのロボットを導入し、物流の質の向上と効率化を図ります。また、建物全体に免震構造を採用し、72時間稼働する大型非常用電源も設置することで、災害時でも安定供給を可能にし、地域医療を支える高品質かつ高機能な物流センターとなる予定です。

*1 PIC/S GDP：医薬品の流通過程における温度管理、衛生管理、各種手順書等の作成等に関する国際基準
*2 RFID：無線を利用して非接触で電子タグのデータを読み書きする自動認識技術



完成予想図

調剤薬局向け
在宅医療支援 サービスを共同開発

アルフレッサ(株)とヤマト運輸(株)は、2019年1月に「医薬品流通研究会」を発足させ、今後の医療提供体制などについて検討しています。その最初の成果として「調剤薬局向け在宅医療支援サービス」を共同開発しました。

地域包括ケアシステムにおいて、調剤薬局は在宅医療への対応や、栄養食品、医療材料・衛生材料、介護用品の提供等、多くの役割・機能を求められます。本サービスでは、アルフレッサ、ヤマト運輸が受注・配送を連携することで、患者様の希望する場所へ、幅広い商品をお届けすることが可能になります。

ベンチャー企業への出資

2019年9月、アルフレッサ(株)は、乳房用超音波画像診断装置の開発を目指すベンチャー企業(株)Lily MedTechへ出資しました。同社が開発する「リングエコー」は、東京大学の医用超音波技術を基にしたリング型超音波振動子を用いており、乳がん検診におけるX線マンモグラフィの被ばくリスクや検診の際の圧迫による痛み、乳腺比率の高い女性に対する検査精度低下等の課題を解決する医療機器として期待されています。

同社の事業を出資という形で支援することで、乳がんの早期発見、早期治療の促進に貢献していきます。



「食と健康アワード2019」で大賞受賞

日本チェーンドラッグストア協会が主催する「食と健康アワード2019」において、アルフレッサ ヘルスケア(株)の専売商品「しおナイン」がサプリメント部門で大賞を受賞しました。「しおナイン」は熊本大学と共同で開発した体内の塩分の排出を促すサプリメントで、減塩ではなく「排塩」という今までにはない新しい切り口が高く評価されました。同社では、「セルフプリベンション(未病・予防)」を推進しており、今後も特色ある専売商品の開発、発掘により、新しい市場、新しい価値の提供に取り組んでいきます。



授賞式の様子
(左)アルフレッサ ヘルスケア(株) 勝木尚社長

吸収性組織スパーサ「ネスキープ®」を新発売

近年、悪性腫瘍の治療に、放射線治療の中でも粒子線を用いた治療が注目されています。しかし、粒子線治療は高線量投与による高い治療効果が期待できる一方、消化管等の耐線容量が低い臓器に腫瘍が近接している場合は治療適応の対象外となっていました。アルフレッサ ファーマ(株)は神戸大学との産学連携によって、悪性腫瘍と臓器の間隙確保のための組織スパーサを開発・製品化し、2019年6月に発売を開始しました。



体外診断用医薬品「ネスコート® Cp オート」を新発売

アルフレッサ ファーマ(株)は、2019年10月に体外診断用医薬品のカルプロテクチンキット「ネスコート® Cp オート」を新発売しました。本製品は、潰瘍性大腸炎患者の病態を判断するための補助検査に使用されます。検査にかかる時間を従来より大幅に短縮するとともに、大腸内視鏡検査の回数を減らすことができ、患者様の身体的負担や、経済的負担の軽減が期待されています。



■「企業との協働の森づくり」協定を締結

アルフレッサ ファーマ(株)の岡山製薬工場では、1981年の建設以来、積極的に地域社会への貢献に取り組んでいます。2019年7月、新たに岡山県勝央町と、森林の植栽や間伐など森林保全に貢献することを目的とした「企業との協働の森づくり」協定を締結しました。今回の協定は、森林のCO₂吸収量の増加および森林保全への貢献を目的としています。今後も地域との連携を図りながら、さらなる環境への配慮に努めていきます。



■「くるみん」認定

厚生労働省では、仕事と家庭の両立支援・子育て支援に積極的に取り組み、一定の認定基準を満たした企業を「子育てサポート企業」に認定しています。アルフレッサ ファインケミカル(株)では、男性の育児休業取得対象者に向けた社内説明会の実施などにより、男性の育児休業取得率は33%を達成しました。こうした取り組みが評価され、2019年6月に秋田県内の製造業として3社目となる「くるみん」認定を取得しました。これにより、アルフレッサグループの「くるみん」認定取得は3社となっています。



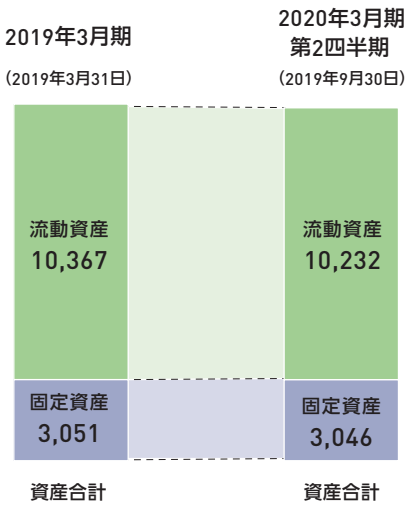
■「広島県働き方改革実践企業」認定

2019年9月、ティーエスアルフレッサ(株)は、広島県商工会議所連合会等により設立された「広島県働き方改革実践企業」に認定されました。同社は当制度の趣旨に賛同し、独自で様々な働き方改革の取り組みを進めています。中でも、5日以上の子育て休業取得者に対し育児休業給付期間中に無給とならないよう経済的サポートを行う制度は、特に男性社員による育児休業取得を促進しています。



第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

四半期連結貸借対照表



POINT 資産

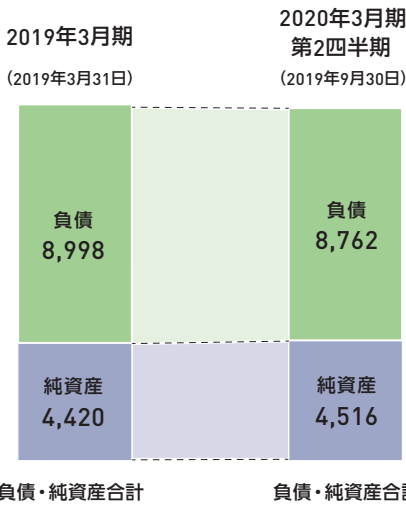
資産は2019年3月期末と比較して、140億円の減少となりました。

流動資産：△135億円

現金・預金・有価証券	△495億円
受取手形・売掛金	+243億円
たな卸資産	+108億円

固定資産：△5億円

有形固定資産	+70億円
無形固定資産	△11億円
投資有価証券	△53億円



POINT 負債・純資産

負債は2019年3月期末と比較して、236億円の減少となりました。

流動負債：△227億円

支払手形・買掛金	△136億円
----------	--------

固定負債：△8億円

純資産は2019年3月期末と比較して、95億円の増加となり、自己資本比率は33.9%となりました。

純資産：+95億円

利益剰余金	+127億円
その他有価証券評価差額金	△30億円

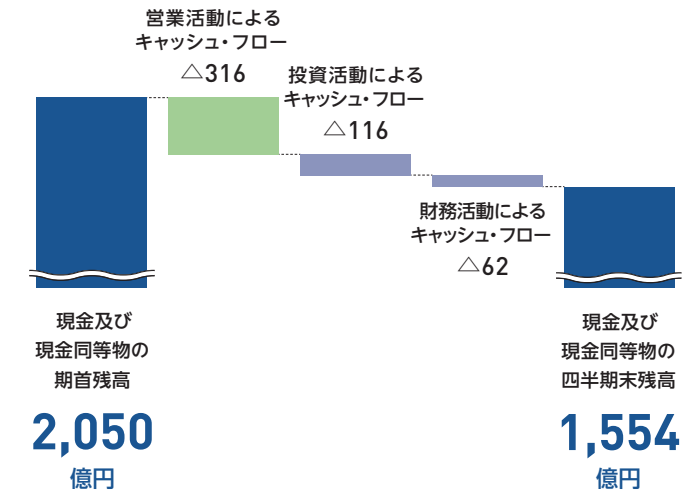
四半期連結損益計算書および業績予想

科目	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月1日～9月30日)	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想
売上高	1,297,808	1,367,155	69,347	2,680,000
売上総利益	96,221	102,143	5,921	205,500
営業利益	19,440	22,909	3,468	45,400
経常利益	24,358	27,169	2,810	55,600
四半期(当期)純利益*1	16,782	18,129	1,347	37,600

*1 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2020年3月期第2四半期(2019年4月1日～9月30日)



POINT キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、第2四半期累計期間において496億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー：316億円の支出

税金等調整前四半期純利益	+273億円
減価償却費	+53億円
売上債権の増加額	△245億円
たな卸資産の増加額	△108億円
仕入債務の減少額	△136億円
法人税等の支払額	△112億円

投資活動によるキャッシュ・フロー：116億円の支出

有形固定資産の取得による支出	△112億円
----------------	--------

財務活動によるキャッシュ・フロー：62億円の支出

配当金の支払額	△50億円
---------	-------

株式情報（2019年9月30日現在）

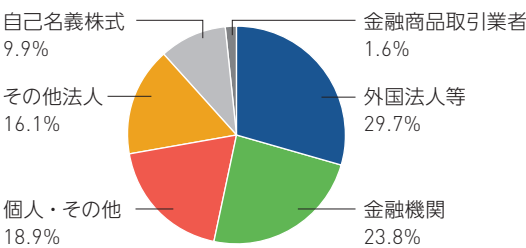
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	9,636名

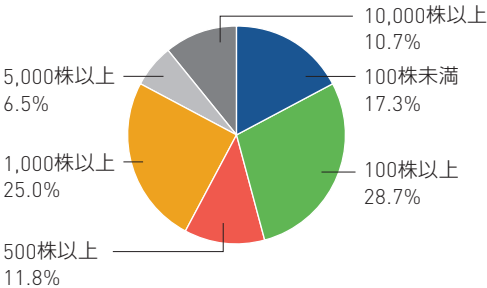
大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	23,343	—
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,572	5.0
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,363	4.0
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,291	2.5
5	エーザイ株式会社	4,602	2.2
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,384	2.1
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,908	1.8
8	野村信託銀行株式会社(福神家信託口)	3,800	1.8
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	3,555	1.7
10	第一三共株式会社	3,202	1.5

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社概要（2019年9月30日現在）

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfreda Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	12,265名(連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の 卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬 局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会 社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉薬
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社
- 株式会社茂木薬品商会

取締役および監査役

代表取締役会長	鹿目 広行
代表取締役社長	久保 泰三
取締役	増永 孝一(副社長)
取締役	泉 康樹(副社長)
取締役	荒川 隆治(常務執行役員)
取締役	岸田 誠一(常務執行役員)
取締役	勝木 尚
取締役(社外取締役)	島田 浩一
取締役(社外取締役)	寺井 公子
取締役(社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役(社外取締役)	金野 志保
常勤監査役	桑山 賢治
監査役(社外監査役)	神垣 清水
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アポロメディカルホールディングス株式会社
- 株式会社日本アポック

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社

「JPX日経インデックス400」構成銘柄に6年連続で選定

当社は、(株)日本取引所グループと(株)東京証券取引所、(株)日本経済新聞社が共同で開発した株価指数「JPX日経インデックス400」に、2014年1月の公表以来、6年連続で選定されました。この株価指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」として、資本の効率的活用や投資者を意識した

経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした上位400銘柄で構成されています。

